

半切四分の一に書くⅡ (12)

締切り 十二月十八日 (必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕こぼくかんがんによる 枯木倚寒巖(禪家の公案・婆子燒庵)

〔大意〕 真の悟りは厳しい修行に得よ、の意に寓する。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

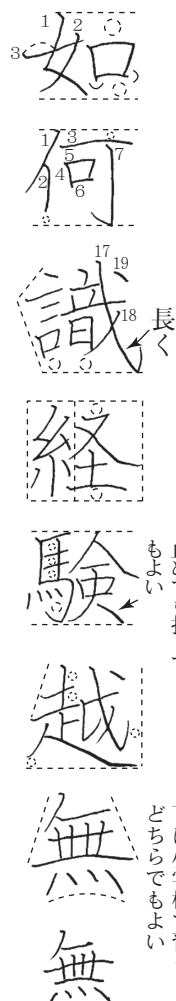
一般部規定課題

締切り 12月18日(必着)

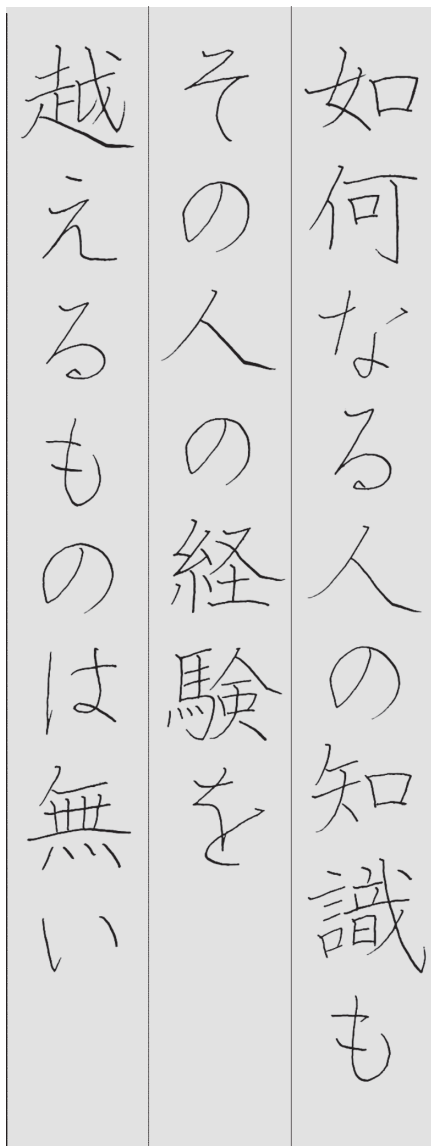
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

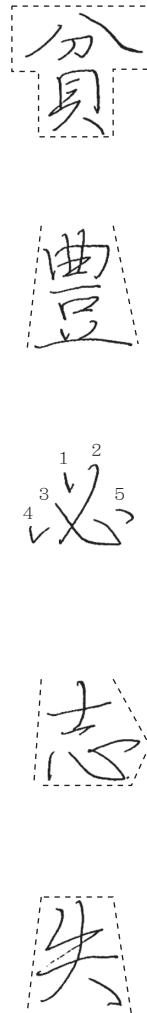


おく むら のぶ ゆき 書
奥 村 暢 之

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★貧しくあれ：（書体＝行書）

道元（一二〇〇～一二五三）

鎌倉時代の曹洞宗の開祖

財産を持っていると、失うまいと思ったり、奪われまいと心配したり、何かと煩わしい心配事が増えます。

僧侶は必要最小限の物以外、何も持たず、持つ必要がないため精神的に安楽に居られ、ひたすら修行一途に打ち込めるのだと言っています。

◆1月課題予告（楷書）
自然淘汰とは
有用なものが
保存される原理

★如何なる：（書体＝楷書）

ロック（一六三二～一七〇四）

イギリスの哲学者

すべての知識は経験に基づいているとよく言われます。

確かに知識は他の人間が経験したことを知ることによっても得られますが、それは自分自身が直接経験して得た知識のような、生きたものにはならないでしょう。

◆1月課題予告（行書）

お辞儀は

し足りないより

し過ぎた方がよい

▼教範・書範＝楷書

▼師範＝行草または草書

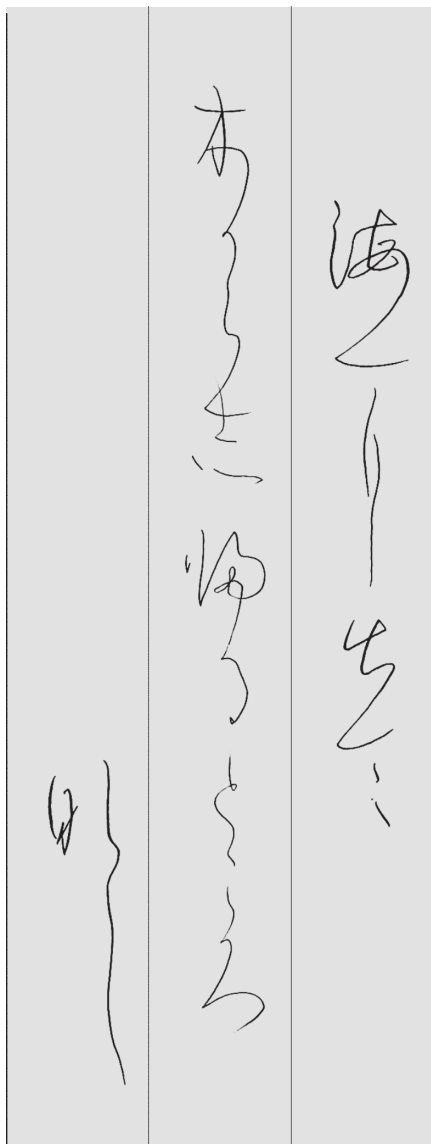
一般部かな課題

締切り 12月18日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

海に出で木枯帰るところなし

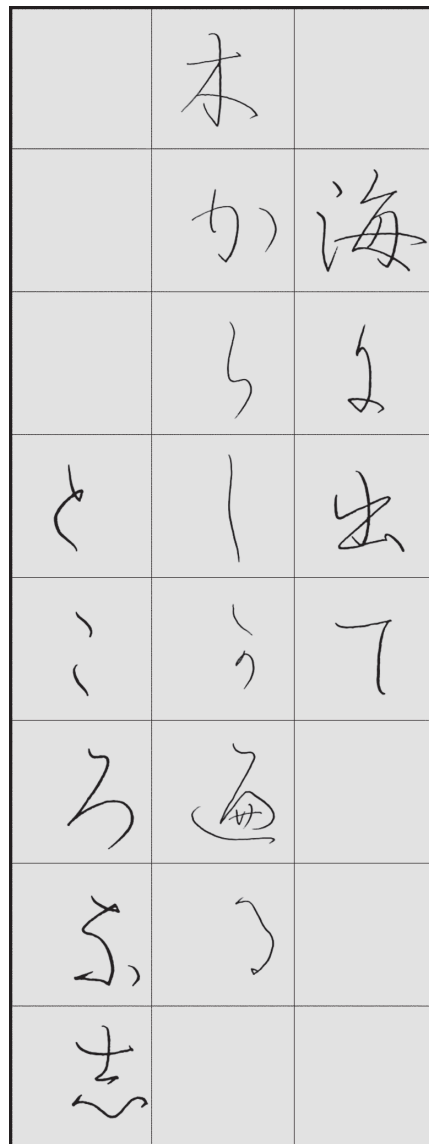


た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

海に出で木枯帰るところなし



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

海に出で木枯帰るところなし

(山口誓子)

「句解」野山をはげしく吹きまくって
いた木枯しは、陸を離れ、海の上を吹
き渡って行き、もう帰ってくるところ
はない。はげしい木枯しもあわれであ
るし、木枯しの吹き渡って行った海は
実にわびしい。

「鑑賞」昭和十九年の作。陸の上を吹
く木枯しが海の上を行くというところ
に新しい発見があり、それをまるで人
か何かのように、帰るところがないと
するところに、わびしく、またきびし
い叙情がある。

〔古筆参考〕

那な 遍へ 天て 耳に 尔に
那な 遍へ 天て 耳に 尔に
那な 遍へ 天て 耳に 尔に
那な 遍へ 天て 耳に 尔に
那な 遍へ 天て 耳に 尔に

「解説」へへへへへへへは、「と」と

「こ」の最後を欠落させてなめらかに
連綿をする。

へへへへへへへではなく、へへへへへへへ。

◆1月課題予告

ぐわいたう
外套の裏は緋なりき明治の雪

(山口青邨)

締切り 12月18日(必着)

自由課題

- ◆今月は、文章も自由といたします。
- ◆皆さんのアイディアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

ねずみの
とし
元旦
今年はやき一年で
ありますようにと
お祈りいたします

つつしみ^美
新春のおよろこびを
申し上げます^寿

※手本は水性ボールペン使用

つーし
新しきもののよろこびを
お寄せください
ねずみの
えん
今年はやき一年で
ありますようにと
お祈りいたします

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

「金色夜叉」は日清戦争後の社会を
背景に金と愛情の争いを描いた。

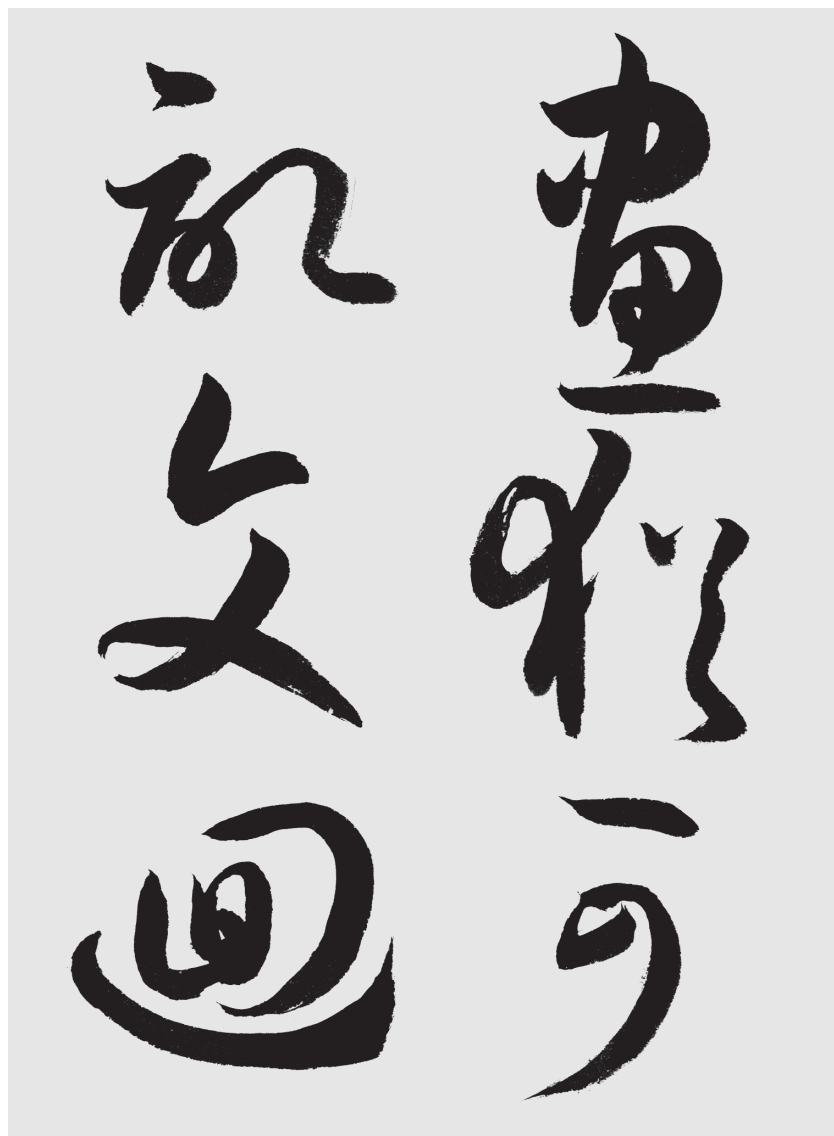
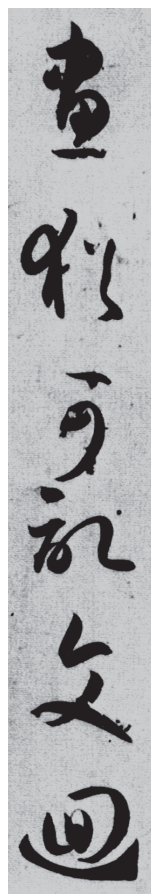
福島県相馬市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月18日(必着)

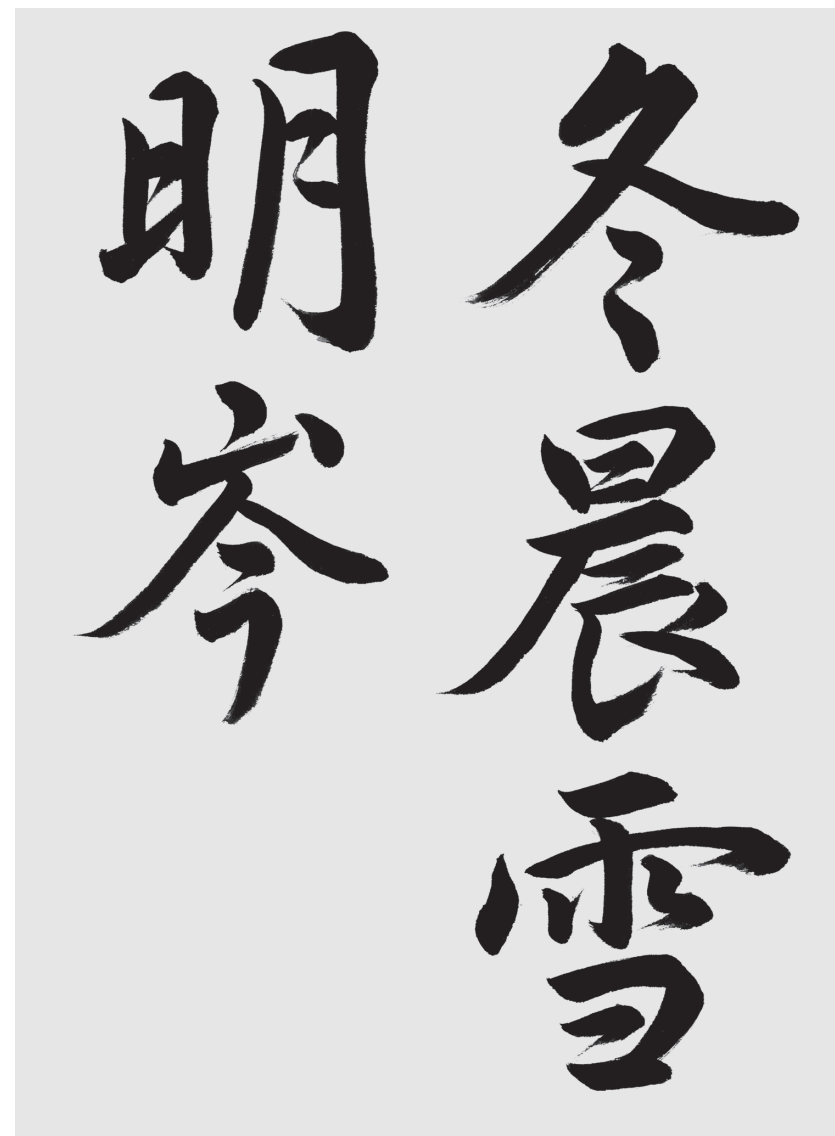
畫
猶
可
記
文
廻



〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（648?～703?）
〔読み〕（真は点）画を（虧くも、）猶文を記す可し。廻（互して）

準初段から師範まで

奥
村
暢
之
臨



〔読み〕冬晨の雪岑に明らかなり
〔大意〕冬の朝眺めれば、雪が岑につもっているのが明らかに見える。

新入から1級まで（行書）

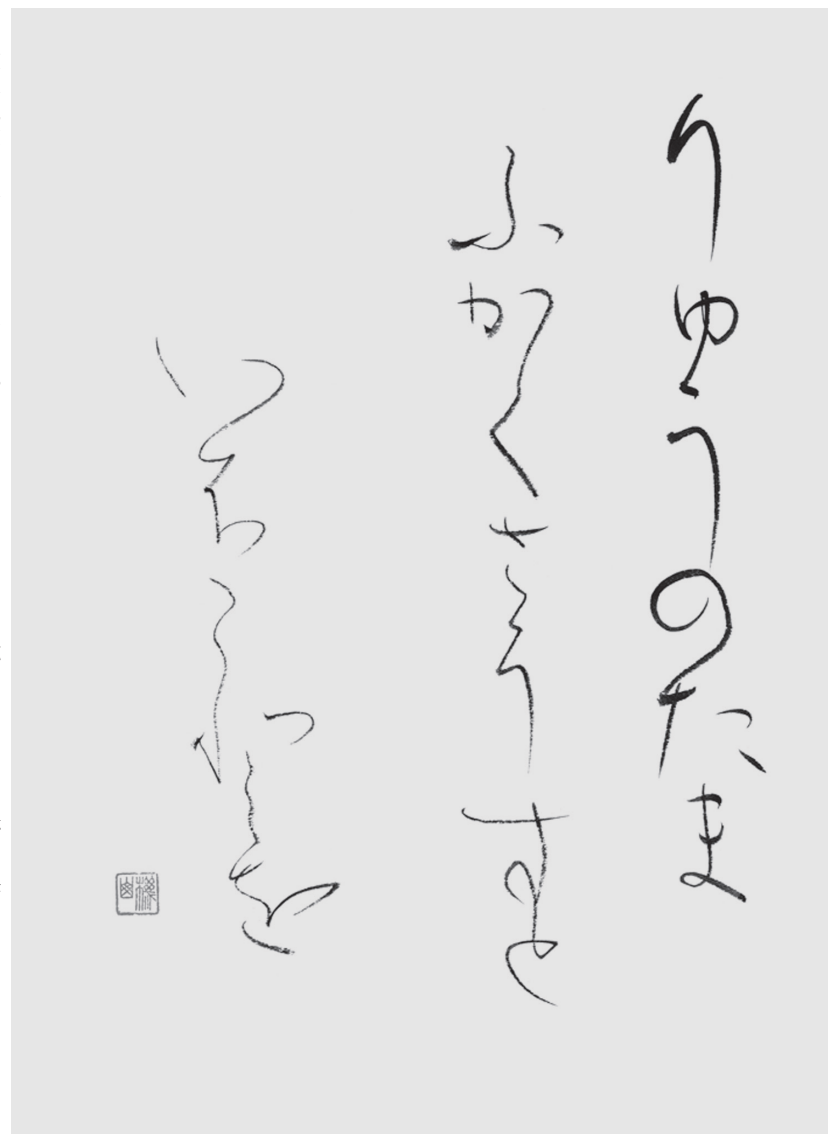
須
田
一
葉
書

一般部毛筆かな課題

締切り 12月18日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

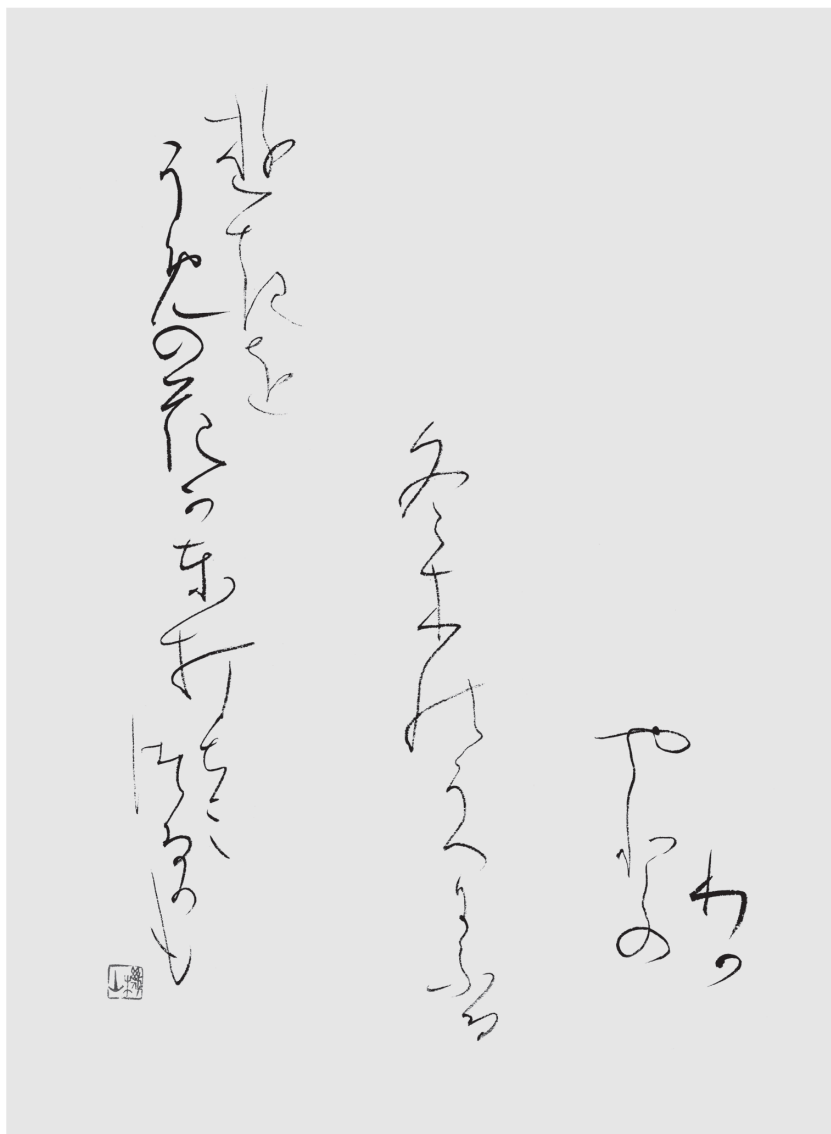


※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

龍の玉深く蔵すといふことを

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

わが^可屋^や前^登の冬^能木^{うへ}の上^ふに降^起る雪^可を
梅^免の花^可かと思^東っ^三て見^徒つ^可るかも

〔出典〕巨勢宿奈磨

〔歌意〕我が家の庭の冬枯れの木立の上に降る雪を、そのあまりの美しさに、梅の花かと思って見ていることだなあ。

〔出典〕高浜虚子

〔句意〕竜の髯の青い実が、細い葉にかこまれるように結んでいるさまを詠んでいるのだが、龍が大切に持つ玉を想像させる句。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月十八日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）



荻田蒼仙書

野寺山辺斜有径
漁家竹裏半開門
李嘉祐

〔大意〕野の寺がある山のももとへ小道が斜めについている。竹に囲まれた漁師の家では門が半分開いている。初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

過日の引越しの際はご親切に
お手伝いいただき大助かりでした
やっと整理も一段落しましたので
ご夫婦でいらっしゃいますね
か

鈴村育子

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

・印で墨つきしました。

（ご自分の氏名）

〔条幅解説〕書作する際、古典古筆の形を借りる。私もその一人。古典の文章を、そして人柄等調べると、その偉大さに驚嘆します。

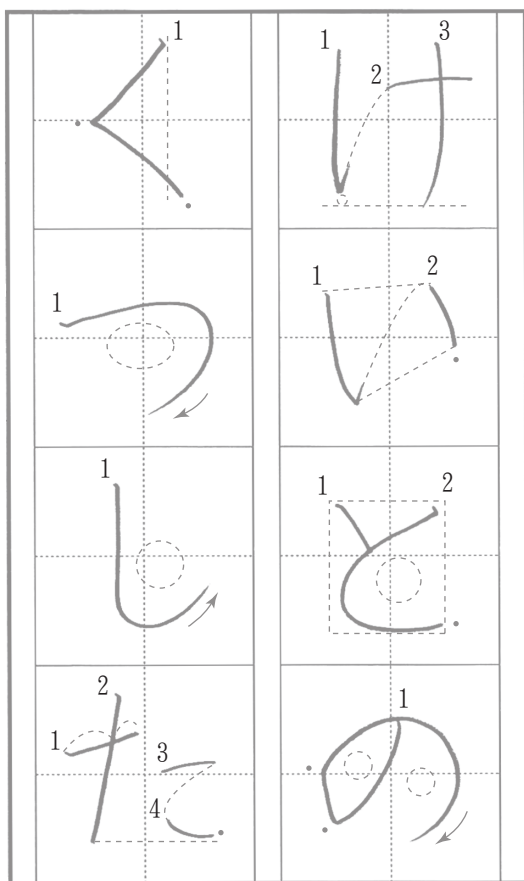
過日の引越しの際はご親切に
お手伝いいただき大助かりでした
やっと整理も一段落しましたので
ご夫婦でいらっしゃいますね

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

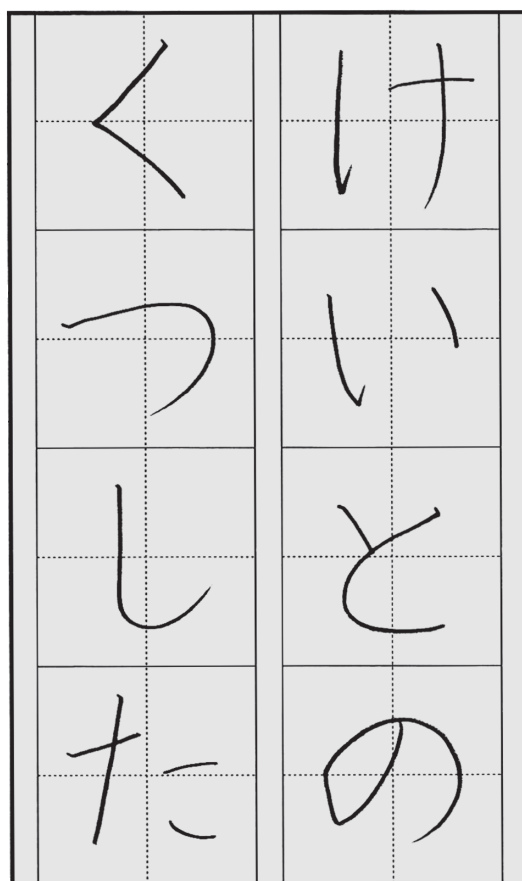
※検定試験三段コースを兼ねる。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



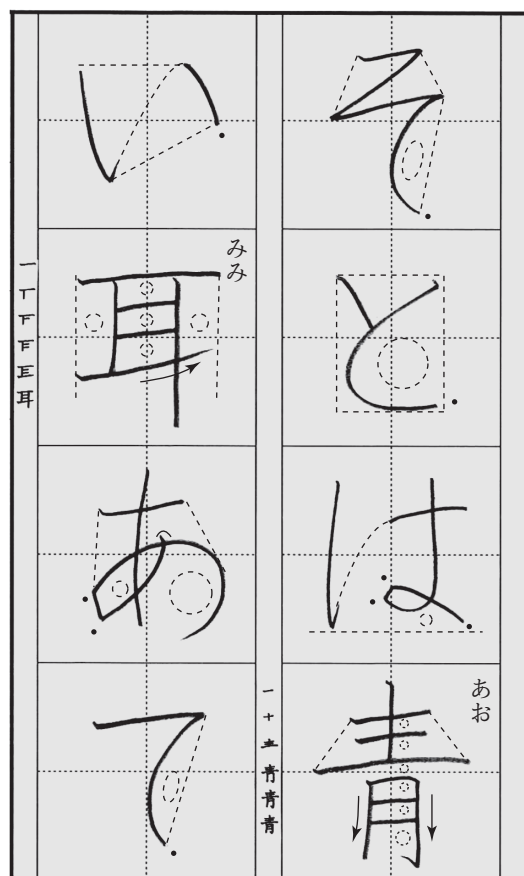
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



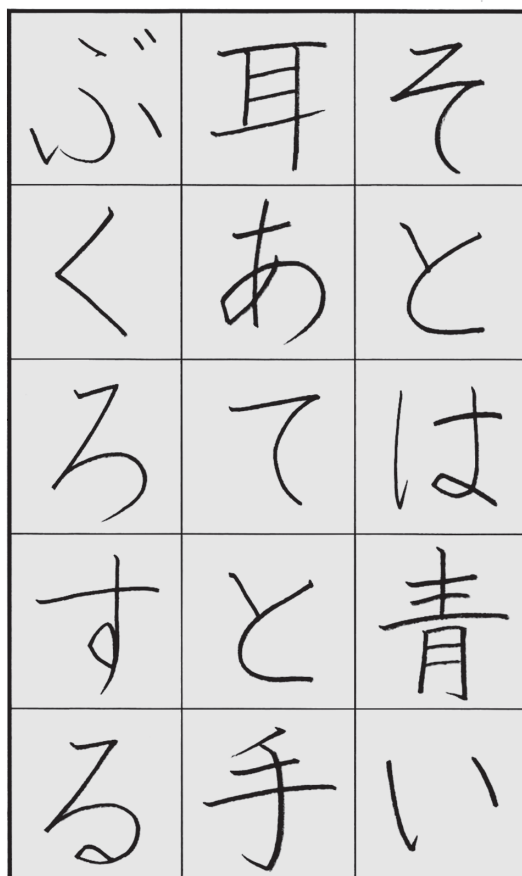
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

組 ぐみ	テ
を	レ
見 み	ビ
る	番 バン

新入1級

番	よ	妹
組	に	と
を	テ	い
見	レ	っ
る	ビ	し

準初段以上

小二年

準初段以上

練 レン	弱 よわ
習 シユウ	い
す	点 テン
る	を

新入1級

も	が	弱
練	し	い
習	て	点
す	何	を
る	度	さ

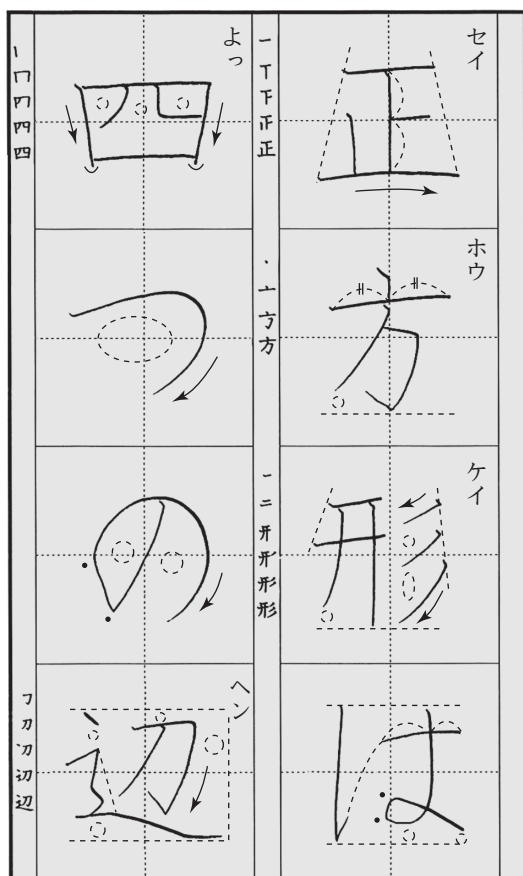
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)



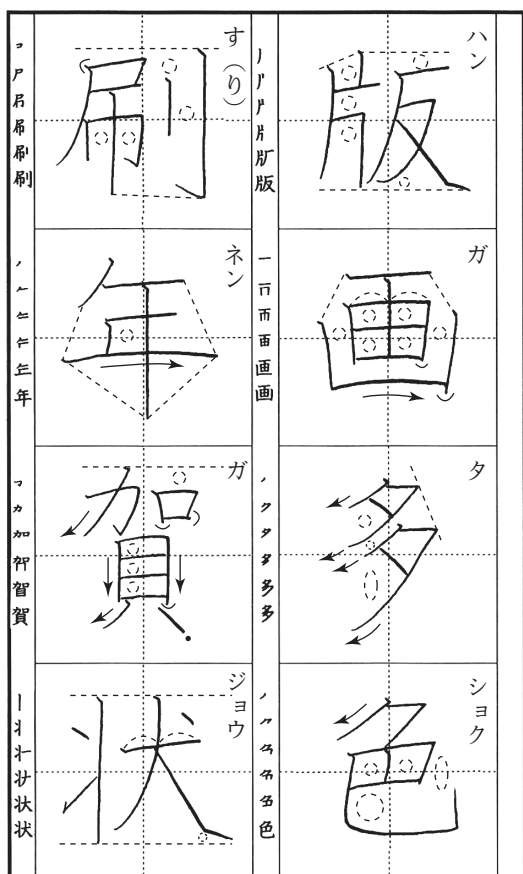
新入1級



小四年

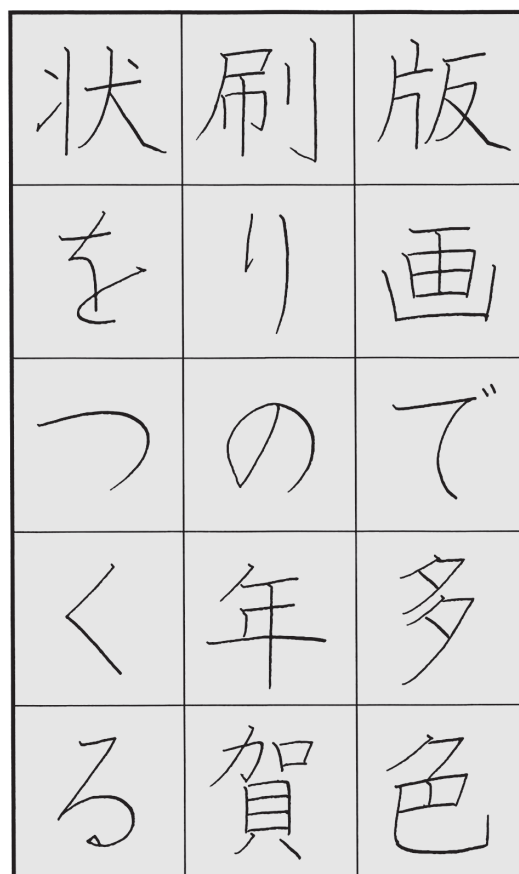
準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書



解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



小五年

(全員)

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

規	キ	本	ホン
模	ボ	番	バン
会	カイ	前	まえ
場	ジョウ	同	ドウ

一十才木本
一ハ平来番番
ン山前前前
一門同同同

解説 (よく見て習いましょう)

で	規	本
予	模	番
行	の	前
演	会	に
習	場	同

小六年

(全員)

所	吹	姉
属	奏	は
し	楽	高
て	部	校
る	に	の

中二・三年 (楷書)

※叔父おじ＝父または母の弟のことです。

最	農	叔
盛	家	父
期	は	の
で	収	白
す	穫	菜

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題

にし じ せい れん 書
西 地 清 蓮

※〔読み〕今年・一日＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

一	が	今	お	明
月	ん	年	め	け
一	ば	も	で	ま
日	ろ	お	と	し
	う	習	う	て
名	う	字		
ま	ね			
え				




しめきり 12月18日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

はや かわ りん か 書
早 川 林 花

元				賀
旦	い	健	ご	
	た	康	家	春
	し	を	族	
氏	ま	お	皆	
	す	祈	様	
		り	の	
名				



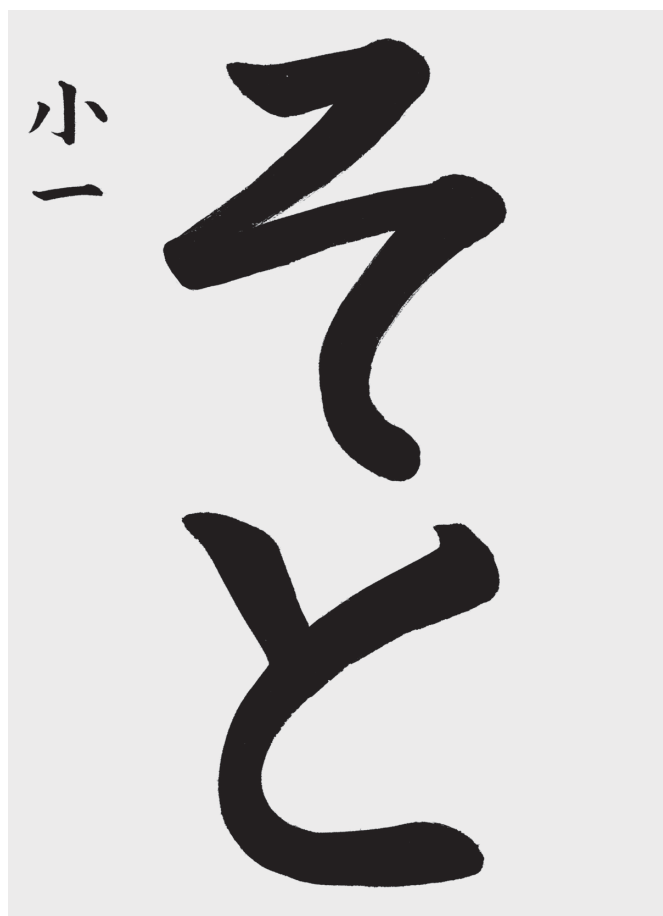
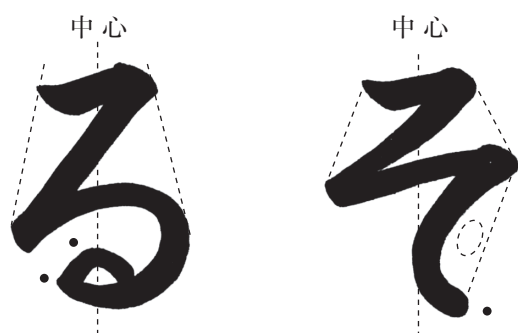
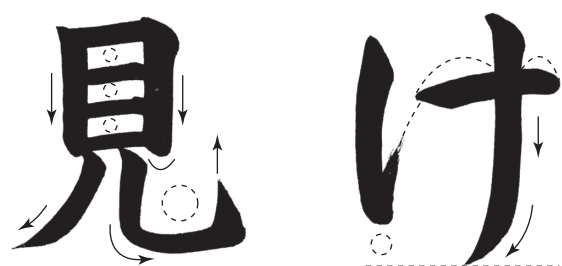
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
水野碧友書



小五
多色
刷り

弱
点
い
小三

形
色
刷
弱
点
正

形正
方
小四

小三、小五年
玉樹小華書

中二・三
吹奏楽部

小六
予行
演習

小六・中二・三年
水野の香竹書

獲
奏
楽

演
習
菜

中一
収
白
獲
菜

第77回 毛筆検定試験受験要項

12月18日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和元年十二月十八日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和二年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての新価格です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円
三、八〇〇円	三、四〇〇円	三、八〇〇円	三、四〇〇円	三、八〇〇円	三、四〇〇円	三、八〇〇円	三、四〇〇円	三、八〇〇円	三、四〇〇円
九、〇〇〇円	八、〇〇〇円	九、〇〇〇円	八、〇〇〇円	九、〇〇〇円	八、〇〇〇円	九、〇〇〇円	八、〇〇〇円	九、〇〇〇円	八、〇〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料 (新価格)
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,100

※受験料は全コースとも、消費税増税に伴う新価格となっています。

〔三段コース漢字課題〕

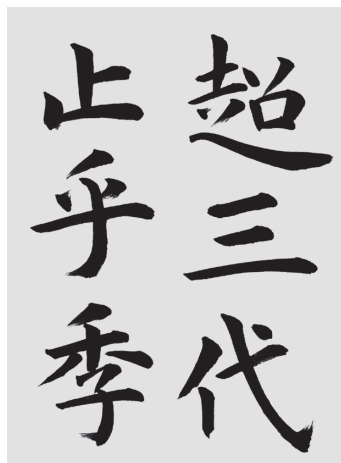
〔1級コース漢字課題〕

《集字聖教序》

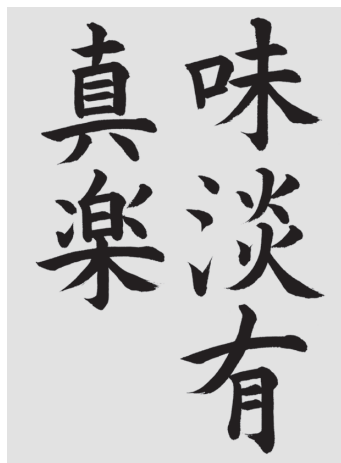
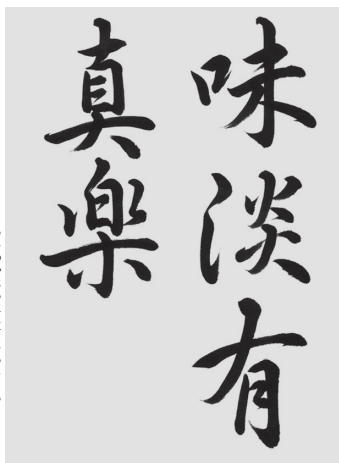
《孔子廟堂碑》

《行書》

《楷書》



あじわいたんにしてしんらくあり
味淡有真楽



神谷葵水先生臨

須田一葉書

◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



▼書 譜

之ニ美而逸少



▼集字聖教序

之論或習俗而



▼孔子廟堂碑

孟之閒羞論五

漢 字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

五段・書範・教範コース課題

五段・書範・教範コース受験のきまり
一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。



(行 書)

会友コース課題

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小 1
たび

小 6
提 作
出 品

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

今度こそは毛筆コンクールに出品
しようと考えています 唐時代の
漢詩に張瑞風(ちやうずいふう)の表現を加えて
四行書きに挑戦するつもりです

細 字 五段コース以上共通(半紙)
次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

猿啼客散暮江頭
人自傷心水自流

条 幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)
次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎わが屋前の冬木の上に降る雪を
梅の花かと打ち見つるかも(巨勢宿奈磨)
※8頁参照